

**千種地区**

世帯数 7,107 世帯  
人口 14,382 人  
男 7,783 人  
女 6,599 人  
令和7年4月1日現在

**発行**

千種地区社会福祉協議会  
発行責任者 鮎川 典雄  
事務所 市原市千種 5-5-12  
電話 080-5821-8546

# ちくさ地区社協だより

## 号外

## 千種にこども農園ができました

私たちの千種に、子ども農園ができました。  
これは、困りごと相談の一環で、荒れた遊休地  
を活用すべく、地区社協で子ども農園を始めよう  
というアイデアができました。千種コミュニティセンター  
のすぐ近くという好立地です。

4月初めに地区社協の14名で開拓を始めました。  
まずはボウボウに伸びた草刈り、葛のツルに苦労しな  
がら徐々に開拓、捨てられているゴミを拾い集めます。



農園ができる場所では、  
子ども食堂で調理担当の  
「わいわいシスターズ」  
が中心となり、開拓団  
婦人部として大活躍。

5月にも再び草刈り、ウ  
ネを上げて畑の整備を  
行い、6月の子ども食堂  
時には子どもたち30人  
弱が、恐らく初めてであろ  
うサツマイモの苗差しに  
挑戦しました。



各自に名札を用意して  
自分の苗がどれかわかる  
ようにしてあります。

秋に予定している収穫  
時には、自分のサツマイモ  
を掘り出すことになります。  
その時のこどもたちの  
笑顔が今から楽しみです。

## こども農園ができるまで



令和7年4月、土地所有者から管理を任された時の荒れ地の状態です。雑草が生い茂り、ゴミが散乱しています。



雑草を草刈り機で刈り取り、ゴミを除去しています。



炎天下、熱中症に注意しながら手作業で畑の準備作業。



開拓団婦人部は、こども食堂の調理班である「わいわいシスターズ」のみなさん。



千種の大地をこのクワでフルスイング。



完成したサツマイモ畑。  
このあと、開拓団はなんども草取りに汗を流しました。



自分が植えた苗に名札を付けて記念撮影。  
はやくおおきなーれ。

# ちぐさ杜協は、他にもこんなことをやっています

## 1. 地域食堂 わいわい

“食堂”と言いますが、食事を提供するだけではありません。地域の、主に子供たちに、「いただきます」、「ごちそうさま」のあいさつ、食事後のお片付けなど、正しい食習慣を身に付けてもらいます。

食事前には、お絵描き、工作、なわとび、けん玉、ゲームなどを友達と楽しめるよう、子どもたちの居場所づくりに努めています。



食堂での食事はカレーライスが多いのですが、時々変化をつけて、この日は焼きそばパンとシチューです。デザートはゼリーと果物でした。



8月のスイカ割には、おおきいお兄ちゃんが、よその幼児をリードして叩かせてあげています。こういうのいいんですね。

## 2. フードパントリー

地域の多くの方や市社協からの寄付、支援を頂き、子どもで世帯に無償で食品、生活雑貨、衣類などを提供します。



5月には鯉のぼりを飾りつけました。大きいまごいはお父さん・・・



七夕飾りにはみんな何を願ったのかな。



「お絵描き」のモデルさんたち。描いた女の子は、髪の毛を少しサービスしてくれました。

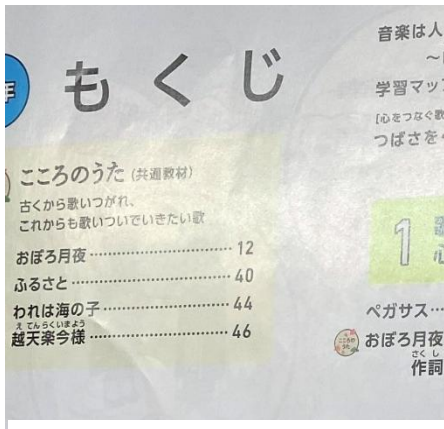


## へえ、そうなの

### 小学唱歌のはなし

子どもの頃唄っていた歌で、意味を取り違えていた経験ってありませんか。よく知られているのは、「うさぎ追いかの山」を、「うさぎ美味い」と聞いて、食べたことないけど美味いんだらうなと思った人も。「夕焼け小焼けの赤とんぼ、負われて見たのは」を「追われてみたの」と聞いて、何故トンボなんか追いかけるのか不思議に思った人もいました。

「赤い靴」だってそうですよ。「異人さんに連れられて行っちゃった」を「いい爺さんに連れられて」と聞いた人は、「いい爺さんで良かったね。お幸せにね」と祝福しちゃうかもしれない。



6年生の音楽教科書の一部  
おぼろ月夜、故郷がのっています。



昔、習った小学唱歌は、今どれくらい歌われているか、知っていますか？

千種小の音楽の先生を訪ねて聞いてみました。

結論。ほとんど歌われていないかと思っていたら、そうでもありません。「ふるさと」、「花」、「夏は来ぬ」、「花」、「荒城の月」などもちゃんと教えられています。でもここに挙げた曲は6年生で教わるので、5年生以下に聞いても知らないと言われます。

「仰げばとうとし」も教科書には載っていますが、卒業式で歌うかどうかは、学校によって違うそうです。先生の立場からすれば、面はゆいのでしようか、今まで明快に説明してくれていた先生が、急に口ごもっておられました。

## 社協の主催事業予定(令和8年3月まで)

### 地域・こども食堂わいわい

毎月第2土曜日 10時～13時  
千種コミュニティセンター 多目的室1 参加費1000円

### 困り事相談室

毎月第1水曜日 10時～12時  
社協事務所(旧弥塩道)

### はなカフェ(子どもでサロン)

11/17(月)、1/26(月)、2/16(月)  
10:30～11:45 社協事務所(旧弥塩道)

### フードパントリー(要予約)

12/14(日)、3/28(土) 10:00～11:30  
千種コミュニティセンター調理実習室

## ご寄付をありがとうございました

|               |         |
|---------------|---------|
| 千葉 英隆様(千葉産業)  | 20,000円 |
| 佐々木 光様(佐々木工業) | お菓子 50袋 |
| 石渡 正人様(柏原)    | お米 30kg |
| 石井 晃様(今津)     | 20,000円 |
| 匿名(千種1.2丁目)   | 10,000円 |
| 匿名(千種1.2丁目)   | 10,000円 |
| 匿名(柏原)        | 18,000円 |



## 編集後記

「ちぐさ社協だより」は一月と七月の年二回発行ですが、今号は号外として十月に発行し、こども農園を特集しました。

千種地区の遊休地を、有効利用できないか検討の結果、こども農園を社協のスタッフ各自が自分たちで作ることにし開拓団を結成しました。

前号の編集後記でもちよ

っと触れましたが、社協のスタッフのほとんどは高齢者で、開拓作業の翌日は、皆腰痛や、筋肉痛で悲鳴を上げていました。

でも、秋の収穫期には、こども達が自分の植えたサツマイモを引き抜いて、大騒ぎするであろう光景を思い浮かべて、痛みを忘れ、自然に笑みを浮かべていました。

